

はじめに

先の東日本大震災ほど、電源の重要性が問われた災害はありません。

被災地はもとより、電源の喪失による原発事故を起因とする、関東地方の計画停電も記憶に新しいものです。

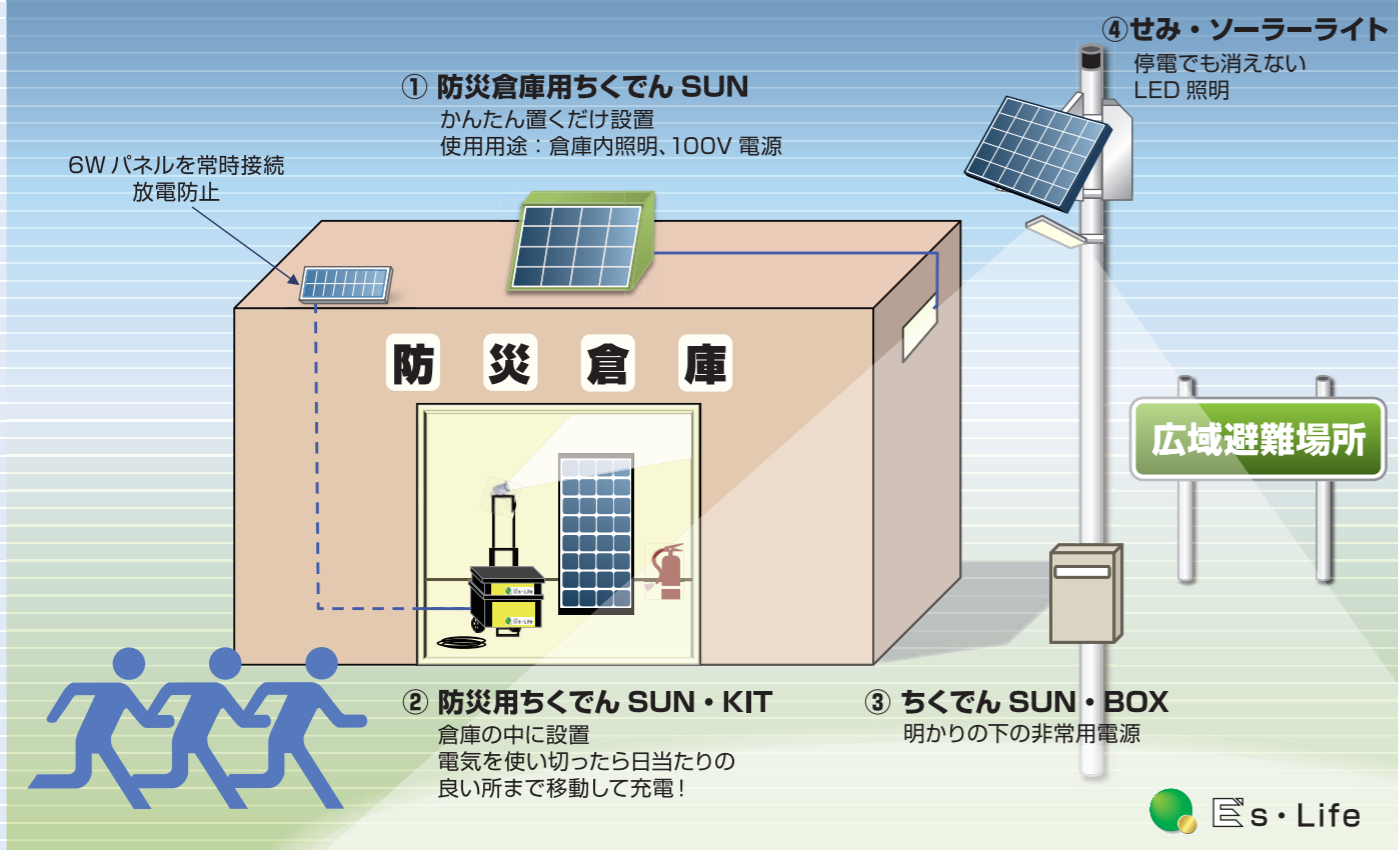
そして、同時に太陽光発電システムも蓄電して使う方法が注目されました。

このカタログに掲載されている電源装置はソーラーパネル1枚を使った蓄電システムで、一般的には独立型太陽光発電と言われるものです。地域分散型自然エネルギー機器としては最小単位で導入しやすい低価格。停電時になくはない灯り、そしてスマホや携帯電話、通信機器の充電などにご利用いただけます。

いつ起こるか分からない災害に、ぜひお備えください。

株式会社 イーズライフ

## 防災用ちくでん SUN シリーズ + せみ・ソーラーライト



### 特徴

- BCP(事業継続計画)にすべての機種が適応。
- 小さいシステムだから、ローコスト、簡単設置、移動もラクラク。
- ソーラーの蓄電だから、商用電源の引き込み工事は一切不要。
- 使い方もスイッチひとつでかんたん利用、ソーラーライトは全自動。
- シンプル構造で、簡単メンテナンス。ローコストメンテナンス。

## ① 防災倉庫用 ちくでんSUN の使い方

納入実績：信州大学工学部様 5台 他多数

年間通して日あたりの良い倉庫の上に、南に向けて置くだけ設置 (低重心正方形で特別な固定は不要です)



インバーターのリモートスイッチとAC100V電源を室内に引き込みます。スイッチを入れると100V100Wの家電品を約9時間使用することができます。



※使い方によってアレンジが可能な商品。倉庫内で電気を使用する場合は、簡単な電気工事がが必要です。照明、コンセントなどの機器は本体価格には含まれません。

## ② 防災用 ちくでんSUN・KITの使い方

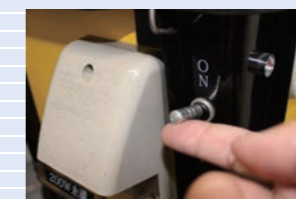
納入実績：大阪府堺市様 17台 他多数

倉庫の中に収納 → 6W パネルと接続 → 蓄電 電気を使い切る → 日当たりの良いところへ移動して自家発電！

6Wパネルでいつも満充電



簡単操作スイッチをいれるだけ



スポットライトで室内照明



蓄電池の上は電気の備品入れ



- 使用できる電力は100Wで約3時間。(最大350W) BOX内の3段階の蓄電表示を確認しながら大切に使います。
- 使い切ったバッテリーは、収納してある100Wソーラーパネルを使うことで、晴天1日で満充電にすることができます。
- 蓄電池の上のボックスはケースのみ、中には懐中電灯、スマホ充電器、ラジオ、延長ケーブルなど必要な電気備品を入れてください。